

科目名	心理学実験			担当教員	高村 和代、蔵富 恵	
単位	1単位	講義区分	実験		ナンバリング	ED2SPS106
期待される学修成果	基礎教養 子ども理解					
アクティブラーニングの要素	グループワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	心理学研究は人間の行動を観察し、客観的なデータからその背後の要因を検討、解明するといった方法で行われる。本講では心理学研究の代表的な手法である面接・観察法、心理学実験法について、座学による理論的側面の理解と、演習による経験的理解を目標として学習をすすめる。こうした技法を習得することで、教育場面での児童生徒に対する観察眼を養う。					
授業の概要	面接法・観察法・心理学実験法の各種に関連する倫理的配慮や事前準備、実施時の留意点の座学を行うとともに、演習形式で実際に面接法・観察法・心理学実験法によるデータ収集も受講者自ら行う。収集したデータに対する適切な分析手法の選択も本講で扱う。調査の結果は最終的にはプレゼンテーション、およびレポートとしてまとめることになるが、その際のプレゼンやレポートライティングの諸注意もあわせて本講義にて触れる。 【デジタル技術利用 該当番号：①，③，④，⑦】					

授業計画	
第1回	ガイダンス：心理学研究法と科学的実証（再現可能性、反証可能性）
第2回	心理学の代表的研究法①：面接法の手順と事例、ラポールや面接者のバイアスなど諸注意
第3回	面接法の演習：調査準備（受講者グループ内での調査テーマ・仮説の立案）
第4回	面接法の演習：調査の実施とデータ分析（基本統計量やクロス集計表など、収集データの特徴を捉える方法を学ぶ）
第5回	面接法調査の結果報告プレゼンテーション
第6回	心理学の代表的研究法②：観察法の分類と手順、観察者バイアスなどの諸注意
第7回	観察法の演習：調査準備（受講者グループ内での調査テーマ・仮説の立案）
第8回	観察法の演習：調査の実施とデータ分析（カテゴリカルデータの集計・分析について学ぶ）
第9回	観察法調査の結果報告プレゼンテーション
第10回	心理学の代表的研究法③：心理学実験の手順と事例、諸注意
第11回	心理学実験の技法（調整法・マグニチュード測定法による知覚実験）
第12回	心理学の測定法（反応時間による注意資源、視覚探索実験）
第13回	複数名を対象とした実験課題（最後通牒ゲーム、パーソナルスペース測定）
第14回	学習の振り返り①：各種研究法に共通する留意点と相違点。相関と因果の違い、因果の方向性について。
第15回	学習の振り返り②：卒業研究に向け、自身の研究関心とその探求に適した研究法について省察する。

事前学修	0.5時間	演習として行う観察課題、実験課題を用いた先行研究を通読すること
事後学修	0.5時間	面接・観察・実験の実習で指摘された不備や問題点の改善案を報告すること
フィードバックの方法	研究調査報告（レポートやプレゼンテーション）に対する講評を講義内にて行う。また、調査準備に関わる質問に随時応答する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	50%	授業内容の理解度，論理性，オリジナリティなどを基に総合的に評価する
上記以外の試験・平常点評価	50%	授業への積極的な参加度，貢献度などにより評価する

定期試験		0%		実施しない	
補足事項		本科目は授業の展開から代替課題の設定が困難なため、本年度教育実習へ行く予定の人には受講を勧めない。			
教科書					
書名		著者	出版社	ISBN	備考
使用しない		なし	なし	なし	なし
参考資料		適宜プリントを配布			